

がんを見つめる

がん検診を定期的に受けましょう

多くのがんは、早期に発見し適切な治療を受けることで治る可能性が高くなります。早期発見のためには、がん検診を定期的に受けることが大切です。

がん検診は、お住まいの市町村で実施しており、無料または少ない自己負担で受けることができます。働いている方は職場で受けられる場合もありますので、職場の担当者にご確認ください。

無料または少ない自己負担で受診できます

市町村のがん検診

胃がん

胃内視鏡検査
胃カメラで胃の小さな病変を見つける検査
男女50歳以上 2年に1回推奨
胃部エックス線検査
レントゲンで胃の小さな病変を見つける検査
男女40歳以上 年1回実施可

肺がん

胸部エックス線検査
レントゲンで胸の病変を見つける検査
※喫煙者を中心に喀痰(かたん)細胞診も行います。

男女40歳以上 年1回推奨

大腸がん

便潜血検査
自分で採取した便に混じった血液の有無について調べる検査

子宮頸がん

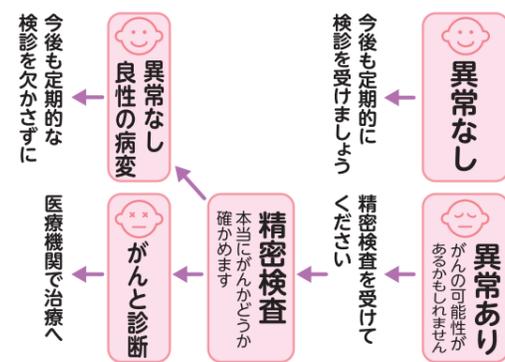
視診、子宮頸部の細胞診と内診
子宮頸部の細胞を採取し、異常な細胞がないかを調べる検査
女性20歳以上 2年に1回推奨

乳がん

乳房エックス線検査(マンモグラフィ)
マンモグラフィにより、小さなしこりを見つける検査
女性40歳以上 2年に1回推奨

※医療保険の種別に関係なくお住まいの市町村で検診を受けることができます。詳しくは、市町村がん検診担当課へお問い合わせください。

がん検診の流れ



肝炎ウイルス検査

「肝臓がんの原因の6割は肝炎ウイルス」

肝臓は「沈黙の臓器」ともいわれ、ウイルスに感染しても自覚症状がない場合が多く、適切な治療を行わないと、肝硬変や肝臓がんといったより重い病気に進行するおそれがあります。検査は、県立保健所または協力医療機関において、採血のみで受診できます。初回は無料です。ので、早期発見のため肝炎ウイルス検査を受けましょう。



乳房を意識する習慣を身につける

乳がんは女性特有のがんの中で最も多く、死亡原因の上位に位置するがんです。乳がん検診は40歳以上が推奨されていますが、39歳以下の方でもかかる方がいます。日頃から乳房を意識する生活習慣を身につけ、乳がんの早期発見・早期治療につなげましょう。

自分の乳房の状態を知る

日頃から意識して乳房を見たり、触ったり、また、月経周期による乳房の変化を感じてみましょう。

普段と違う変化に気をつける

- ・乳房の形や大きさの左右差
- ・乳房のしこり
- ・乳房の皮膚のくぼみや引きつれ
- ・乳頭や乳輪のただれ
- ・乳頭からの血性分泌物

変化に気づいたらすぐ医師に相談する

40歳になったら2年に1回検査を受ける



手のひらと4本の指で鎖骨から乳房の下方、両脇までをチェック



がんを治す

質の高いがん医療と支援制度

県では、お住まいの地域にかかわらず適切かつ質の高いがん医療を等しく受けられるよう、地域のがん医療の拠点となる病院を指定するなど、医療機関の体制強化を図っています。これらの病院では、手術や放射線治療、薬物療法(抗がん剤)などを組み合わせた質の高いがん治療を提供しています。

また、高額な費用が発生する陽子線治療などの先進医療技術を利用した治療等に対する各種支援制度を設けています。

- **がん診療連携拠点病院(国指定)**: 6カ所
がん医療の中心的な役割を担う拠点病院
- **がん診療連携推進病院(県指定)**: 3カ所
国指定の拠点病院に準じる病院

和歌山県内のがん診療体制



先進医療によるがん治療を支援

公的医療保険の適用がない先進医療のがん治療を希望するがん患者が、経済的理由により治療をあきらめることがないよう、治療費の一部を補助しています。



補助率や上限額、補助対象者など詳しくはこちら

生殖機能の温存治療を支援

将来子供を産み育てることを望む小児、思春期・若年がん患者の方に対して、希望を持って治療に取り組むことができるよう、治療開始前に行う生殖機能(妊孕性)温存治療に必要な費用等の一部を助成しています。



医療用補整具の購入を支援

治療に伴う心理的・経済的な負担を軽減するとともに、社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図ることを目的に、ウィッグ等の医療用補整具の購入費を助成しています。 ※市町村により実施状況が異なります。



若年がん患者の在宅療養を支援

若年のがん患者の方が、住み慣れた自宅で、自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅サービス利用料の一部を助成します。

対象者

- 20歳以上40歳未満で県内に住所を有する方
- 在宅生活の支援及び介護が必要な方など

助成額

対象サービス	助成額
①訪問介護	①～③を合算して
②訪問入浴介護	1月あたり
③福祉用具貸与	最大8万1千円
④福祉用具購入	1年あたり最大9万円
⑤居宅介護支援	1月あたり
	最大2万2千円

詳しくはこちら→

